

平成 20 年 5 月 14 日

大崎市長 伊藤康志様

大崎重症心身障害児(者)を守る会

会長 大友祥子

新大崎市民病院建設に関する要望書

大崎重症心身障害児(者)を守る会並びに重症心身障害児・者に対し、日頃からのご高配を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、当会の子ども達は、重度の知的障害と重度の肢体不自由の重複障害があり、しかも毎日の生活に医療ケアを必要としている状況です。会員のほとんどが、在宅で、今後も家族と一緒に地域の方々と関わりながら生活していきたいと望んでおります。このことを踏まえて、こうした生活実態から、当会および栗原分会並びに登米地区で重症心身障害児および重症心身障害者のニーズについてのアンケート調査を行いました。(別添)

その調査によると子ども達が宮城県北部地域で安心して暮らしていくためには、どうしても医療ケアの充実が必要不可欠であります。

つきましては現在、計画中の大崎市民病院建設に際しまして、医療ケアがなければ日常生活さえ困難な子どもたちの現状をご賢察いただき、子どもたちが地元で安全・安心の毎日の暮らしができますよう、同病院建設に対して下記の5点について、特段のご高配を賜りたく、ここに要望いたします。

添付書類

平成19年度重症心身障害児並びに重症心身障害者のニーズについてのアンケート報告書

新大崎市民病院建設についての要望書

1. 新大崎市民病院で、重症心身障害児および重症心身障害者が小児神経科・整形外科・リハビリテーション科並びに歯科の医療を受診できるような病院の整備と専門医師の配置を要望いたします。また、車椅子や装具等に関する専門の整形外科医の配置を要望いたします。

現在、当地区の重症心身障害児は、アンケートからも分りますように、そのほとんどが発達小児科、小児神経科、整形外科および歯科などの診療及び医療を受けるために、また車椅子や装具等を製作、調整及び修繕のために、仙台市内の県立拓桃医療療育センター、東北大学付属病院、仙台日赤病院または西多賀国立病院などに、月に何度も通院しております。

重度の障害のある子ども達は体力がありませんから、診察・訓練・車椅子や装具の調整だけでも疲れ果ててしまう上に、仙台までの往復では本来の姿を失ってしまい、通院の翌日は学校を休まざるを得ず、楽しい学校生活も半減してしまいます。また、一日がかりですから親も子ども達と同様に疲労困憊の状態です。

このためにも、新大崎市民病院に上記の医療やリハビリテーションが受診できるよう専門医師の配置と病院の整備をお願いいたします。是非とも早急に、重度の障害のある子ども達の定期的な医療やリハビリテーションの受診が同病院で完結できるように要望いたします。

2. 大崎市民病院に、重症心身障害児および重症心身障害者が利用できる医療ケアのある短期入所施設の設置を要望いたします。

現在、当福祉圏域および周辺地域の医療ケアの必要な重症心身障害児および重症心身障害者が長期及び短期で入所できる施設は、仙台のエコー療育園や西多賀国立病院等の仙台市内の施設のみで、なお且つそれらは常に満床の状況で家族の入院時などの緊急に必要な場合に利用することができません。

新大崎市民病院建設に際しましては、緊急一時入院のための病床の確保を要望いたします。

また、重度の障害を持つ子ども達にとって、家族以外の方から食事の摂取や排泄の介助をいただき、一人で宿泊ができるということは、自立の大切な一歩です。その自立への訓練のためにも地元で短期入所を利用したくても、残念ながら現状では受け入れてもらえる施設がないために、

その訓練もできません。是非とも重症心身障害児および重症心身障害者の必要な医療に対応できる短期入所病床の設置も併せて要望いたします。

3. 新大崎市民病院の小児科病棟へ、保育士の人員配置を要望いたします。

子ども達の入院生活のなかで、現在は親は子どもから離れることが困難で、保育士とのかかわりは、保護者にとってありがたいものです。保育士の専門性を発揮しながら、子ども達の遊びを通しての成長や、保護者への子育ての指導という観点から、保育士の人員配置は大変必要性があると考えております。

このため、新大崎市民病院建設に際しましては、是非とも小児科病棟には保育士の人員配置を要望いたします。

4. 新大崎市民病院外来に、多目的シートの設置が出来ますように、車椅子

トイレのスペースの確保を要望いたします。

市民病院外来で受診した際に、現在の病院のトイレには子ども達のおむつ交換のスペースがないことに気づき、当会では現在の病院に大人用の多目的シートを寄贈させていただく予定としています。しかし、現在の車いす専用トイレは狭いため、大人用の多目的シートの機種選定に苦慮いたしております。

新大崎市民病院建設に際しましては、是非ともこの大人用の多目的シートを設置できる車いす専用トイレの設置を要望いたします。

この多目的シートは、重症心身障害児および重症心身障害者のみならず、ご高齢の方の着替えやおむつ交換にも利用できるもので、ユニバーサルデザインの理念にも合致したものと思えます。

5. 新大崎市民病院出入口の適切な場所に、雨風を防ぐことができる車椅子

専用の昇降スペースを確保してくださいますよう要望いたします。

重症心身障害児および重症心身障害者が病院へ行く際に、車からの乗り降りは、車椅子を下ろしたり、組み立てがあり、また車いすと車輦との移乗のために時間がかかります。また、その際、車の後部を開けていることも多く、悪天候の時は難儀することが多いため、是非とも雨風を防ぐことができる車椅子専用の昇降スペースの設置を要望いたします。